

LOVE&REVOLUTION

光と闇を知り
突き抜けた
自分になる方法

12星座別 ブレイクスルーのヒント

野本由美子

(モデル株式会社代表／星詠み講師)

目次

- ・ はじめに 3
- ・ 牡羊座 4
- ・ 牡牛座 5
- ・ 双子座 6
- ・ 蟹座 7
- ・ 獅子座 8
- ・ 乙女座 9
- ・ 天秤座 10
- ・ 蠍座 11
- ・ 射手座 12
- ・ 山羊座 13
- ・ 水瓶座 14
- ・ 魚座 15
- ・ おわりに 16
- ・ 筆者プロフィール 17

はじめに

「なんだか自分を活かしきれてない」
「やろうと思いつつ、できない自分がイヤだ」
「自分らしさって一体どこにあるの」
「自分らしい働き方を手に入れたい」

これらはすべて数年前の私の、声なき声です。

有名大学に入り、大手企業に入り、他人の価値観で「よい」とされてきたレールに乗り、順風満帆の人生を送っていたつもりでの私。

でも心の声はいつも、「こんなはずじゃない」と叫んでいた。

それから、妻となり、母となったことで、自分のアイデンティティと向き合わざるおえなくなった私が、人生の道しるべになるかも？と学び始めたのが、私が「星詠み」と呼んでいる、占星術です。

「ただの占いでしょ？」と、半信半疑で学び始めた「星詠み」は、世界の原理原則を教えてくださいただけでなく、私の人生やビジネスの指針となってくれました。

そして、単なる趣味で始めたはずの「星詠み」は今では仕事となり、1,000人を超える女性たちの進路の背中を押す智慧として、キャリアや進路設計の役に立ってくれています。

本書では、12星座の特徴を「光と闇」と表現し、それぞれの「ブレイクスルーポイント」をお伝えしています。

過去の私や、多くのクライアント様が課題に感じられている

- ・自分らしいってどんなこと？
- ・「そこそこ」で満足せず、「突き抜けて」行きたい

この2つを解決するヒントを得て、あなたが、あなたを生きる道のきっかけにして頂けたら幸いです。

<本書の使い方>

まずは、あなた自身の星座（太陽星座）のページをご覧ください。
各ページには、あなたの持って生まれた資質が「光」と「闇」で書かれています。
また、あなたがブレイクスルーするために取り入れると良い別の資質（星座）が書かれていますので、そのページも合わせてお読みいただくと、より自分への理解が深まります。
また、ご家族やご友人などの星座のページも目を通されると、大事な人のことをより知るきっかけとなるでしょう。

牡羊座

<牡牛座の光>

牡羊座は、12星座の1番目のサイン。

ですから、肉体を持っていない、塊の状態です。

まだこの世に降りてきたばかりで空に浮いているような状態ですから、自分以外の他者の存在をわかっておらず、自己愛の性質を強く持っていると言えます。

ですから、周りがどうであるか検討するよりも、とりあえず自分でやってみる。自分が自分であることに疑いを持たず、進む。

インスピレーションやひらめきというテーマの下に、恐れずに新しい場へ飛び出していくパイオニアとしての力を持っているのが牡羊座です。

<牡牛座の闇>

牡羊座は先陣を切って飛び出していくので、周りから見ると「自分勝手、自分しか見えていない」というふうに見られることがあります。

ですが、そのように見られても、牡羊座はそのやり方しか知りませんし、他者の存在を意識していないので意に介しません。

<牡牛座のブレイクスルーポイント>

12星座の向かいにいる天秤座の要素を取り入れます。

天秤座もゼロからイチを作っていくスタートの質を持っているサインですが、

「自分基準か、他人基準か」というところに大きな違いがあります。

天秤座は「【あなた】がいて【私】がいる」という対人関係の中で自分を見つけていくことが得意な性質です。

周りから「自分のことしか見えていない」と自己中心的に見られてしまう時は、意識して周りを見渡すようにするといいいでしょう。

牡牛座

＜牡牛座の光＞

牡牛座は2番目のサインで、やっと生まれてきて体を感じる、という段階です。ですから、五感を使って物事を味わうという特徴があります。

牛が反芻するようにゆっくりマイペースに物事を味わって、一つのことを持続していくエネルギーを持っています。揺るがない我が道を行くような姿です。

持続して生きて行くためには「食べること」が必要です。それは「稼ぐ」という意味にもなりますので、「お金」を象徴するとも考えられます。ですから、牡牛座には「生きて行くためにお金が必要だ」という堅実な金銭感覚を自然に身につけている人が多いのも特徴です。

＜牡牛座の闇＞

一つのことを持続できる一方で、「新しいことを始められない」「ずっと同じところにいるような気がして、これでいいのだろうか」とコンプレックスに思ってしまうところがあります。

＜牡牛座のブレイクスルーポイント＞

12星座の向かいにいる蠍座の要素を取り入れます。

蠍座も一つのことを持続させて行く力が強くどっしり構えた重厚感のあるサインです。

違いは、価値を感じる対象。

牡牛座は土の星座なので「具体的な形にすること」に価値を感じ、蠍座は水の星座で「共感や感情を分かち合うこと」を大事にします。

ですから、牡牛座が行き詰まった時には、蠍座のように「心の声」「気持ち」に耳を傾けることを真似してみてください。

双子座

<双子座の光>

双子座は、12星座の3番目のサイン。

フットワークが軽く、自分が興味を持ったものにはどんどん足を突っ込んで行く、小2男子のような行動派さん。

学んだことを元に何か成果を出したい・何かを作りたい、ということはありません、
「とにかく集めたい・知りたい」が中心の知的好奇心が旺盛なタイプです。

また、「調整」という役割を担う星座でもありますので、臨機応変さがあり、人の中に入って調整役になっていくという特徴があります。

<双子座の闇>

風星座の双子座は、軽く見られてしまいがちなことが闇のポイント。

いろんなことを知っていますから、頭が良く物事を適切に判断できます。

ですが、真面目で頑張り屋さんの一面よりも、ソツなくこなす要領の良さの方が目立ってしまうところがあります。

何事も、爽やかに軽やかにやりおおせてしまうので、その頑張り・辛さが周りに伝わりにくいのです。

<双子座のブレイクスルーポイント>

12星座の向かいにいる射手座の要素を取り入れます。

射手座も双子座と同じ柔軟・調整の性質を持つサインですが、見ている範囲の違いがあります。

双子座は好奇心旺盛に動き回りますがローカルな自分の範囲なので、視点が狭くなりやすい傾向があります。

一方で、射手座は自分のホーム以外の場所にもどんどん探求に出かけます。

双子座が行き詰まった時には、射手座のようにちょっと視点を広く持ってみると良い突破口になります。

また、双子座は知的好奇心が強い半面、考えすぎてしまって頭でっかちになりやすいところもあります。火星座の射手座のように、直感ひらめき・インスピレーションに従って動いてみるのもオススメです。

蟹座

<蟹座の光>

蟹座は、12星座の4番目のサイン。「ホーム」の象徴です。母性の象徴とも言われる優しげなイメージがあり、水星座ならではの感情を大事にし、全肯定で人を受け入れる力があります。

「闇も光もどちらもあるよね」とまるごと受容してくれるような優しさです。

ですが、誰でも受け入れるわけではなく、その蟹の甲羅で、自分の身内かそうじゃないかの線引きをはっきりと分けています。その甲羅というホームの中に入っている仲間に対しては面倒見がよく、「命がけで守る」という身内へ激しく熱い愛情があります。

<蟹座の闇>

感情を大事にするので、振れ幅に波があり、感情に振り回されてしまいがちです。落ち込む時は、甲羅のシャッターを閉めてしまってこの世の終わりのような落ち込み方をします。

<蟹座のブレイクスルーポイント>

12星座の向かいにいる山羊座の要素を取り入れます。

山羊座は10番目のサインで、枠を作る・形を作るという力を強く持ち、成果・結果を求めます。

ですから、蟹座は感情に振り回されそうになった時には、山羊座の真似をして未来・目標を見据えることを意識してください。

その熱い情熱や感情を、未来を実現するパワーとして使っていくのがオススメです。

獅子座

<獅子座の光>

獅子座は、12星座の5番目のサイン。
直感ひらめきを維持という形を出して行くという特徴があります。

そして、仲間の中から抜け出し自分らしさを発揮してオンリーワン・ナンバーワンの自己表現をしたい、という強いエネルギーを持っています。

12星座の中で唯一、太陽を守護星に持っていますから、理想に燃えて輝いているのが獅子座の姿です。

<獅子座の闇>

格好つけなきゃいけない、いいところを見せたい、というプライドの高さがあります。

また、不動のサインですから、頑固で自分が動かず、人を動かす方にエネルギーが向かいがちです。

<獅子座のブレイクスルーポイント>

人には素晴らしいところばかりではなくて、不完全な自分もあります。
そんなみっともない自分も全て含めて「自分らしさ」「自己表現」として受け入れて、表現できるようになると、進化・成長のきっかけになります。

また、視野が少し狭めになって行き詰まってしまった時は、12星座の向かいにいる水瓶座の要素を取り入れて、客観的な広い視点で物事を見てみるといいでしょう。

乙女座

<乙女座の光>

乙女座は12星座の6番目のサイン。
世の中での自分を冷静に見つめて、「自分らしさは世の中に通用するのか？」と検証しています。

人の役に立つこと、そして物事を分析していくことが乙女座のテーマです。

そうして人の役に立ちたい、人の補佐・参謀的な役割を果たしたい、と思う「貢献」の性質を持っています。

<乙女座の闇>

人の役に立つことでしか自分の価値を測れず、欠乏感に苦しむことがあります。

有能でなければならない、という意識が強く、目標を達成しても「まだまだ」という完璧主義になりやすいです。

<乙女座のブレイクスルーポイント>

12星座の向かいにいる魚座の要素を取り入れます。

魚座は12星座の一番最後のサインですから、これまで11星座で色々やってきたことを最終的に清濁飲み合わせて「よかったね」とまるっとまとめて次の命にバトンタッチするサインです。

「清濁飲み合わせる」というキーワードを心に留めて、完璧でなくダメな自分もあっていいんだ、と自分に自信を持ってください。

乙女座の存在自体に治癒的な、癒し・安心感の効果があります。
自分が自分らしくあるだけで、十分な価値があるのです。

天秤座

<天秤座の光>

天秤座は、12星座の7番目のサイン。

牡羊座から乙女座までの「個人を形成する」という意味合いが強かった前半から発展し、「確率した自分を社会や人の中で役立たせて行く」という対人関係の資質が出てきます。

天秤座はそのスタート地点にあり、社会の中でいろんな人に出会い、いろんな場所に行ってみる社交性が天秤座のテーマになります。

バランスをとり、どこにも偏りません。

誰かが突出したり落ちこぼれたりすることがダメだという世界観を持っていて、平均より少し上を狙いたいと思っています。

<天秤座の闇>

天秤座は美意識が高く、カッコよくやりたいことから、

人目を気にして頑張りを見せないことを美德としています。

サラッとしているのでその頑張りが人から見えにくいところがあります。

また、行動力がありますが、頭がいいので頭でシミュレーションをしてそれで終わってしまうことがあります。

<天秤座のブレイクスルーポイント>

行き詰まった時には、お向かいの牡羊座の要素を取り入れてみましょう。

天秤座はつい周りを見てしまう「ええカッコしい」なところがあります。

いい意味での牡羊座の周りを見ない無鉄砲さや自分中心さを真似してみると、突破のきっかけになるかもしれません。

蠍座

<蠍座の光>

蠍座は12星座の8番目のサイン。

天秤座の浅く広くバランスを取る性質から、蠍座は深く狭くを追求する性質になります。

とにかく一途に、決めたことをとことんやり尽くすところがある魅力。

共感を大事にする水星座ですから、表面的でない深い気持ちの持ち主です。

<蠍座の闇>

瞬間的な情熱やパッションが起きると深く入りすぎてしまい、抜けられないことがあります。

自分の中に重く感情がのしかかり、感情に振り回されてしまいがちです。

また、追求する性質から、一つのことをやり始めると強いのですが、変化に弱いのです。

変化しなければならぬ環境に置かれるとつらくなることがあります。

<蠍座のブレイクスルーポイント>

12星座の向かいにいる牡牛座の要素を取り入れます。

どちらもどっしりと深い意味合いのあるサインですが、牡牛は物を、蠍は感情を大事するという違いがあります。

感情に振り回されることでつらくなってしまった時には「心地いい・美味しい・いい香り」という、身体を使って素で感覚を味わう経験をしてみてください。

射手座

<射手座の光>

射手座は、12星座の9番目のサイン。

蠍座で浅く広くを極め、新しく生まれ変わった自分が広く外の世界に出て行くことが射手座のテーマです。

スケールが大きく、俯瞰的に物事を見ています。

一ヶ所で何かを判断するのではなく、世界規模などの広い視点で見た時に「それがどうなのか？」という本質的に考えるために知識を集めますから、賢く優秀です。

また、細かいことを気にせず寛容で、おおらかな心を持っているのも特徴です。

<射手座の闇>

「広く遠く」と視野が広い分、足元が見えなくなってしまう。

理想が高いので夢の実現までが遠く、しんどくなってしまうことがあります。

<射手座のブレイクスルーポイント>

行き詰まった時には、お向かいの双子座の要素を取り入れてみましょう。

双子座は自分の身近なところ、ローカルにある興味関心を集めてくるサインですから、真似をして、自分の身近なところに目を向けてみましょう。

大きな野望を達成するまで、中間目標を設けて手の届く範囲で階段状にしていくことでくじけずに頑張れます。

また、次の山羊座を見るのも方法の一つです。

12星座の後半である天秤座以降、社会との関わり方を試してきた星座たちは山羊座で一旦完成になります。

自分とは何なんだろう？と山羊座で形作るための最後の冒険をしていることを意識するのです。

山羊座

<山羊座の光>

山羊座は12星座の10番目のサイン。

形になる・枠を作る・自分の世界を一旦完成させる、というのが山羊座のサインでリーダーシップの星とも言われます。

目標達成も山羊座のテーマです。

山羊座には具体的な形にするということが価値観の真ん中にあり、それを0から1を生み出すことによって叶えていきます。

必ずしも自分が前に出るのではなく、適材適所にヒト・モノを配置して成果を出して行くタイプです。

<山羊座の闇>

目標達成したい人ですから、したたかな野心家で成果主義が強く出ることがあります。

そこに囚われてしまい疲れてしまうことがあります。

<山羊座のブレイクスルーポイント>

12星座の向かいにいる蟹座の要素を取り入れます。

山羊座は父性、蟹座は母性の星座です。

父性は形にするためにジャッジをし、良い悪いのジャッジもする厳しさがあります。

逆に、母性の蟹座は「このままでいいんだよ、気持ちが大変だよ」と受容する温かさがあります。

疲れた時には、ありのままの自分でいい、成果を出せない自分も大丈夫、と思い出してください。

水瓶座

<水瓶座の光>

水瓶座は、12星座の11番目のサイン。

山羊座で作り終えた自分の形・伝統・文化を一回壊し、その枠を超えて新しいものを生み出そうとする革新のサインです。

枠を超えていきたいというエネルギーが強く、人と同じことが嫌だったり、人から決めつけられることを嫌だと思ふところがあります。

1個作り終えた後に、さらに超えて行くということから、「物事を広く普遍化させていきたい」という思いがあります。
転じて「博愛主義」とも言われます。

革命の星である天王星に守られています。

<水瓶座の闇>

人と違ったことを好むあまり、偏屈な一面が垣間見えることも。
とりあえず否定から入る傾向があります。

<水瓶座のブレイクスルーポイント>

博愛が行き過ぎるときは、向かい側の獅子座の要素を取り入れましょう。
まず、愛すべきは自分です。
周りを気にせず、子どものように、ただただやりたいことを楽しむと良いでしょう。
物事を疑問から入らず、素直にそのまま受けてみるのもオススメです。

魚座

<魚座の光>

魚座は12星座の最後のサイン。

自分の枠を超えて革新革命を起こした後の総決算のサインで、これまでの全てを抱え込み全てを水に流していく、という役目を果たします。

良い悪いをジャッジするのではなく、全てのものが表裏一体、光の面も闇の面も持っていると理解しています。

その高い受容力で、清濁全てを飲み合わせて包み込んであげるのです。

<魚座の闇>

全てを受け入れてあげる優しさ故に、優しすぎるところ・自分の甘さを悩みに思っている人が多いです。

また、水星座全般にある気持ち・共感を大事にする価値観から、見える化されにくく評価されにくかったり、誕生日が一番遅いことから、ずっと待たされている感覚を感じています。

<魚座のブレイクスルーポイント>

12星座の向かいにいる乙女座の要素を取り入れて、「決めること・ジャッジすること」を意識します。

「全ていい、けれど、私はこれが好き」とあえて決めるのです。

対象が広がりすぎてつらくなった時に、もっと狭めて選択の範囲を区切ってください。

全体性が大事な魚座には心苦しいところがあるかもしれませんが、今一番大切なことを見定めて決めることが突破口になります。

おわりに

古代の人は、自然のリズムと一体化して暮らしていました。
天で起きる天変地異や天候に、いまよりもずっと影響を受けていたのです。
だから、その法則を知ろうと、星空や星の動きを知る天文学と、星の意味やメッセージを読み解く占星術を、紀元前から長い時間をかけて、体系化して来ました。
占星術は「天の星と、地上は、同じ動きが起きている」という思想から、天の天体に、人間の意識をなぞらえて考える哲学です。

本書では、当たる・当たらないの「占い」としてではなく、星のメッセージをひもとくもの、として「星読み」という言葉を使っています。（「読」は書いてあるものを見て、言語化（音読、黙読）すること、「詠」は自分の中にある想いをある形式（この場合は占星術）に乗せて言語化すること）

星詠みを学ぶことは、すべての命への「祝福」だと、私は考えています。
なので、星詠みをさせて頂くことは、人の人生を、丸ごと肯定すること。
命を祝うこと。
その上で、その人の持って生まれた可能性の光も闇も両方伝えていくこと。闇を知り、光を生きるためのメッセージを、自分を媒介にして、届けていくことです。

ことばには、魂が宿ります。
希望を見せることもできれば、絶望に落とし入れることでもできる。
それが「ことばの力」です。
私は星詠みをお伝えする時に「お守りになるようなことば」を使うことを心がけています。
お守り自体が、何かしてくれるわけではないけど、折に触れ、星からのメッセージを思い出し、その人がその人らしく生きる手助けになること。
本書が、読まれたあなたの、「言祝ぎ（ことほぎ）」（言葉で祝うこと）になることを願ってやみません。

最後までお読みいただきありがとうございます。

<筆者プロフィール>

野本由美子:星詠み講師 /メデル株式会社 代表取締役



経営者・起業家・ビジネスパーソンを対象に、占星術を使ってその人の素質や強みを見出し、ビジネスやキャリアの成功実現をサポートする専門家

1977年茨城県出身。明治大学文学部卒。

幼少期、理容師として自営していた父の背中から経営者マインドをインストールされ育つ。

株式会社日本香堂にて11年間、営業職に従事。

日本文化に惹かれ入社するも、新人時代は、ベテランの営業陣の中で、自分の強みが見いだせず手探り状態で過ごす。

転機となるのは、強みを見出し、仕事のミッションを与えてくれたある上司との出会いだっただ。

古いイメージがあるお線香を若い世代にとの想いで、『業界に新たな文化を作ること』を目標に自ら掲げ、仕事が順調に回りだす。

大手百貨店や経営者約100人を得意先とした法人営業も経験し、4年連続の予算達成に貢献し、社長賞を受賞。

その時の自身の経験から、人は自分だけの素質と目標を明確に見出せば、想いを実現できると確信する。

入社10年目に、出産・育児などのライフイベントで自らのキャリアを再設計し退職。

独立後、NPO法人や一般社団法人の研修講師の立場で、働く女性達のキャリアカウンセリングを実施。約300人の女性と向き合い、どう自分らしく働くかという声に触れ、ひとりひとりの個性や輝ける場所の重要性を痛感。

その後、自分の人生の道しるべとして使っていた占星術が、周りの人のキャリアや進路設計に役立つと気づき、その人の素質を見る占星術と写真撮影とを組み合わせたオリジナルメニューをスタート。「星詠み写真家」として2年でのべ700人をカウンセリングし、多くの方が背中を押され、それぞれの使命を生きる道に進んでいる。リピート率は7割を超える。

2017年9月、メデル株式会社を設立。

個人向けの活動から、現在は起業家向けのサービスも開始。

幼少期に感じた経営者を応援したいという思いを胸に、経営者の使命を形にし、適材適所で成果の出せるビジネス展開のサポートをしている。

ホームページ <https://medl.co.jp/>

facebook <https://www.facebook.com/yumiko.nomoto>

